

能装束の着付け実演

『船弁慶』の静御前と平知盛

短大公開講座 舞台裏の魅力に触れる



金沢学院短期大学の公開講座「能楽 もう一つの雅の世界」は十一月二十四日、4号館講堂で開かれ、演目『船弁慶』の前シテ静御前と後シテ平知盛の装束の着付けが舞台上で行われ、来場者は能楽の別の魅力に触れました。

北國宝生会の渡邊容之助理事長が『船弁慶』について解説したあと、宝生流能楽師の数俊彦さんの説明で着付けが進められました。静の着付けでは、女性らしく尻に丸みをつけ髪を束ねる工夫、知盛の衣装では、袖を織り込んで新聞紙を入れ鎧のように見せる工夫などが明かされました。

東高相撲部に北國スポーツ賞

重量挙げの川畑、城内選手も

北國新聞社が顕彰する第四十三回北國スポーツ賞に、インターハイで優勝した東高校相撲部と、金沢学院大学出身で金沢学院アスリートクラブ所属の川畑源大選手、東高校職員の内史子選手が選ばれました。十一月三日に北國新聞会館で行われた表彰式で、飛田秀一社長から表彰状と記念品が授けられました。



北國スポーツ賞を受けた選手ら = 北國新聞社



学校説明会で挨拶する石田校長。金沢歌劇座

円盆のデザインに助言

美術工芸科生が輪島実高生に

金沢学院大学美術文化学部美術工芸学科の漆芸コース四年生六人は十一月二十二日、来校した輪島実高学校地域産業科漆芸コースの二年生に、卒業制作で来年度から本格的に手がける円盆（まるぼん）のデザインなどを助言しました。

石川県が進める高大連携教育の一環で、生徒たちが持ち込んだデザイン画の前に、市島桜魚教授と学生が修正した方がよい部分や、制作で施す技法が蒔絵が良いか沈金が良いかなどをアドバイスしました。



学生からアドバイスを受ける輪島実高生。6号館

楽しい学校づくり強調

東高校学校説明会

金沢学院東高校の学校説明会は十一月二十三日、金沢市の金沢歌劇座で行われ、平成二十年度入学に向けて、教育方針や入試方法などを説明しました。

石田毅士郎校長が「東高校は学力だけでなくマナーやルールを守る人間教育に力を入れている」と挨拶しました。来夏完成予定の新校舎の説明もありました。説明会は十二月一日にも金沢歌劇座で開かれます。

ロシアの渤海研究を発表

金沢学院大学美術文化学部文化財学科主催の講演会「ロシア沿海地方の渤海遺跡」は十一月二十三日、石川県立歴史博物館で開かれました。写真左。

ロシア科学アカデミー極東支部のアレクサンダー・イブリエフ上級研究員が、現在の北朝鮮国境に近いクラスキノ城、ウラジオストクの北に位置するゴルバト力城などの出土品から、渤海の中心と辺境の生活の違いを推測する研究を進めたことなどを紹介しました。



通訳は小嶋芳孝教授が務めました。同館では両城跡からの出土品の展示も行われました。

マレーシアへ修学旅行

金沢学院東高校の修学旅行は十一月十六日から二十一日まで行われ、昨年に引き続きマレーシアへ出向きました。参加した二年生二百五人は、現地に入ってから二日目にパングリリス村でアクティビティに臨み、マレー武道やセバタクロー、マレー料理づくり、エゴツアなどを体験しました。

発行・広報室